

大阪府工業指数2023年3月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…97.1 前月比 11.5% 4か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など 8 業種が上昇し、金属製品工業、輸送機械工業など 6 業種が低下した。

品目別にみると、医薬品、ショベル系掘削機械等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、1.2%と 2 か月ぶりの上昇となった。

(2) 出荷指数…91.1 前月比 6.2% 4か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、汎用・業務用機械工業など 9 業種が上昇し、金属製品工業、生産用機械工業など 5 業種が低下した。

品目別にみると、医薬品、電動アシスト自転車等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲3.5%と 7 か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…106.2 前月比▲0.4% 3か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業、電気・情報通信機械工業など 8 業種が低下し、石油・石炭製品工業、食料品工業など 5 業種が上昇した。

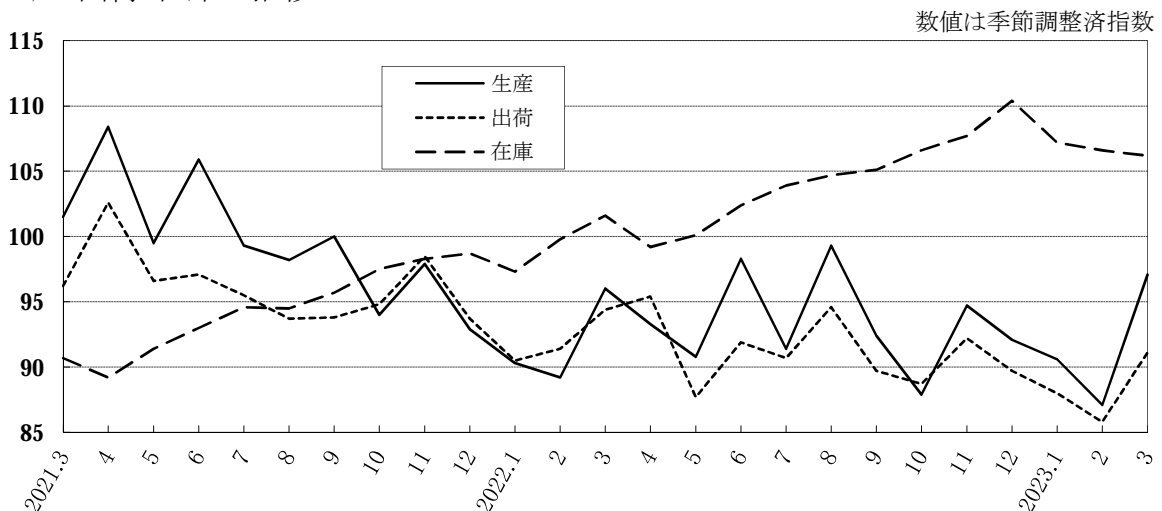
品目別にみると、乾電池、アンモニア等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、4.6%と 19 か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2023年2月	87.1	▲ 3.9	87.0	▲ 2.4
	2023年3月	97.1	11.5	105.2	1.2
出 荷	2023年2月	85.8	▲ 2.5	85.3	▲ 4.9
	2023年3月	91.1	6.2	101.5	▲ 3.5
在 庫	2023年2月	106.6	▲ 0.6	105.9	6.8
	2023年3月	106.2	▲ 0.4	102.9	4.6

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 11.5% 上昇 8業種
 低下 6業種
 横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	化学工業	14.122	73.7	医薬品、柔軟仕上げ剤
	電気・情報通信機械工業	0.777	7.5	セパレート形エアコン(室外)、非標準変圧器
	食料品工業	0.179	1.8	チョコレート、ビール・発泡酒
	プラスチック製品工業	0.128	3.1	プラスチック製容器(中空成形) プラスチック製機械器具部品
	石油・石炭製品工業	0.108	7.6	ジェット燃料油、重油
	その他工業	0.102	1.7	ステンレス製魔法瓶、平版印刷(オフセット印刷)
	窯業・土石製品工業	0.071	3.7	無アルカリガラス基板、生コンクリート
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.045	2.7	段ボールシート
	その他の上昇した品目			ショベル系掘削機械【生産用機械工業】 機械プレス【生産用機械工業】
低下	金属製品工業	▲1.320	▲14.1	橋りょう、飲料用アルミニウム缶
	輸送機械工業	▲0.969	▲14.7	鉄道車両部品、シャシー・車体部品
	生産用機械工業	▲0.381	▲3.0	超硬工具、個装・内装機械
	汎用・業務用機械工業	▲0.224	▲2.9	汎用内燃機関、パッケージ形エアコン
	電子部品・デバイス工業	▲0.180	▲16.9	アクティブ型液晶パネル
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.127	▲1.8	亜鉛めっき鋼板、アルミニウムはく
		その他の低下した品目		

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	医薬品	化学工業
	2	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	3	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	4	チョコレート	食料品工業
	5	非標準変圧器	電気・情報通信機械工業
	6	柔軟仕上げ剤	化学工業
	7	機械プレス	生産用機械工業
	8	プレス用金型	生産用機械工業
	9	合成アセトン	化学工業
	10	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
低下	1	橋りょう	金属製品工業
	2	鉄道車両部品	輸送機械工業
	3	超硬工具	生産用機械工業
	4	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
	5	個装・内装機械	生産用機械工業
	6	ウイスキー	食料品工業
	7	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	8	パッケージ形エアコン	汎用・業務用機械工業
	9	繊維機械	生産用機械工業
	10	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業

(2) 出荷

前月比

6.2%

上昇 9 業種
 低下 5 業種
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	7.363	58.1	医薬品、フェノール
	汎用・業務用機械工業	0.472	7.1	ポンプ、汎用内燃機関
	輸送機械工業	0.405	5.3	電動アシスト自転車、鉄道車両
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.219	1.8	銅荒引線、鉄鋼切断品
	プラスチック製品工業	0.215	5.1	プラスチック製容器(中空成形) プラスチック製機械器具部品
	電気・情報通信機械工業	0.158	2.3	セパレート形エアコン(室外)、非標準変圧器
	窯業・土石製品工業	0.052	3.8	生コンクリート、研削砥石
	石油・石炭製品工業	0.034	0.4	ジェット燃料油、軽油
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.028	1.9	雑板紙
その他の上昇した品目				柔軟仕上げ剤【化学工業】 ショベル系掘削機械【生産用機械工業】
低下	金属製品工業	▲1.988	▲18.4	橋りょう、飲料用アルミニウム缶
	生産用機械工業	▲0.581	▲5.2	超硬工具、個装・内装機械
	食料品工業	▲0.243	▲2.5	ウイスキー、砂糖
	電子部品・デバイス工業	▲0.067	▲11.2	電子回路基板
	その他工業	▲0.055	▲0.9	ニット製繊維製品(下着・補整着・寝着類・靴下) 金属製家具
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3) 在庫

前月比

▲ 0.4%

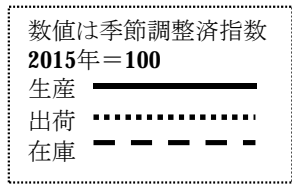
上昇 5 業種
 低下 8 業種
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	石油・石炭製品工業	0.762	33.7	灯油、重油
	食料品工業	0.237	6.9	チョコレート
	その他工業	0.162	2.9	繊維板・パーティクルボード、タフテッドカーペット
	生産用機械工業	0.059	3.6	ショベル系掘削機械
	汎用・業務用機械工業	0.049	0.4	汎用内燃機関、エアハンドリングユニット
その他の上昇した品目				セパレート形エアコン(室外)【電気・情報通信機械工業】 陸上移動通信装置【電気・情報通信機械工業】
低下	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.436	▲2.1	鉄鋼切断品、特殊鋼冷間仕上鋼材
	電気・情報通信機械工業	▲0.386	▲1.9	乾電池、LED器具(除. 自動車用)
	化学工業	▲0.220	▲1.3	アンモニア、フェノール
	輸送機械工業	▲0.198	▲10.1	電動アシスト自転車
	プラスチック製品工業	▲0.154	▲4.8	プラスチック製フィルム・シート プラスチック製容器(中空成形)
	窯業・土石製品工業	▲0.018	▲1.6	せっこうボード、光学用ガラス素地
	金属製品工業	▲0.016	▲0.2	作業工具、スチール製缶
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.002	▲0.1	紙器用板紙
その他の低下した品目				蛍光灯【電気・情報通信機械工業】 パッケージ形エアコン【汎用・業務用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移



汎用・業務用機械工業



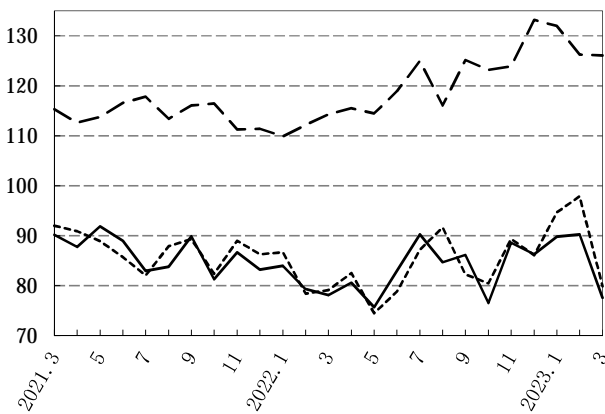
鉄鋼・非鉄金属工業



電子部品・デバイス工業



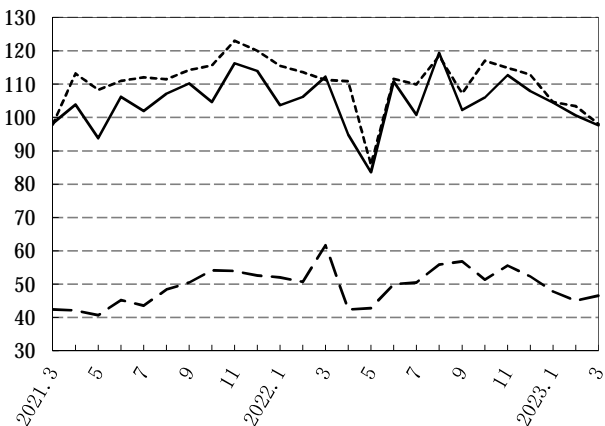
金属製品工業



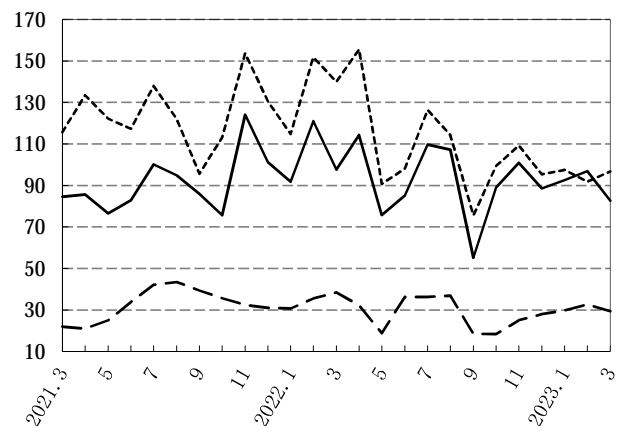
電気・情報通信機械工業

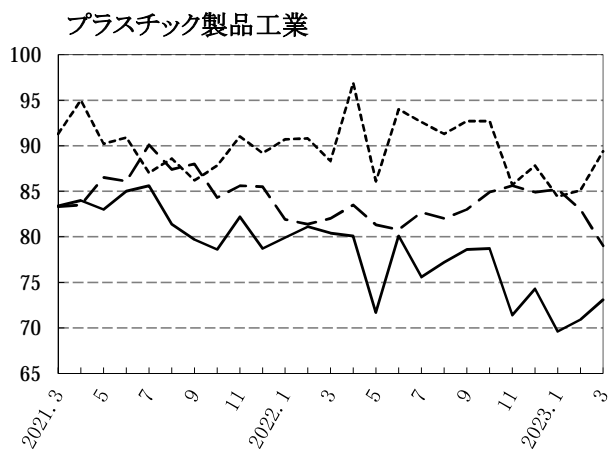
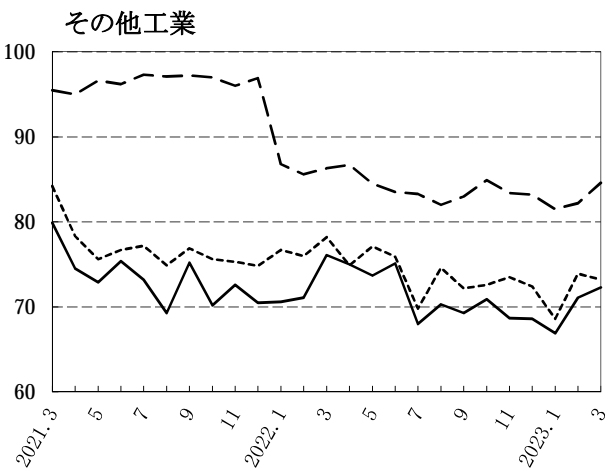
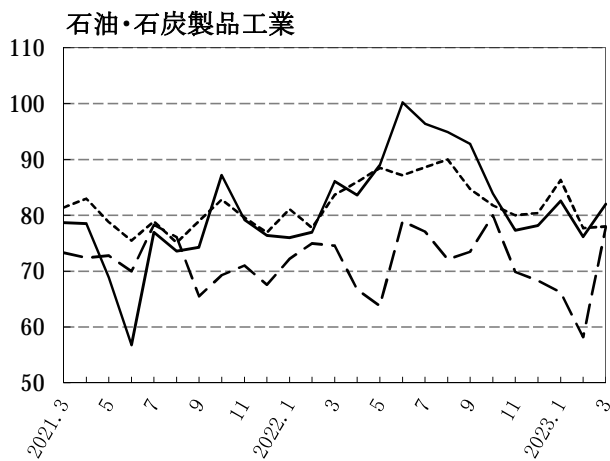
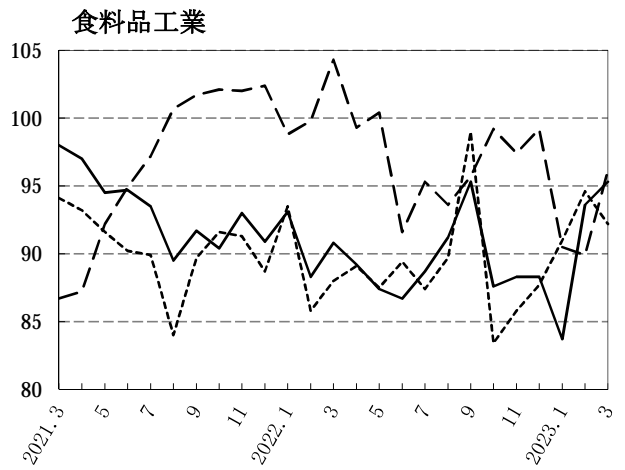
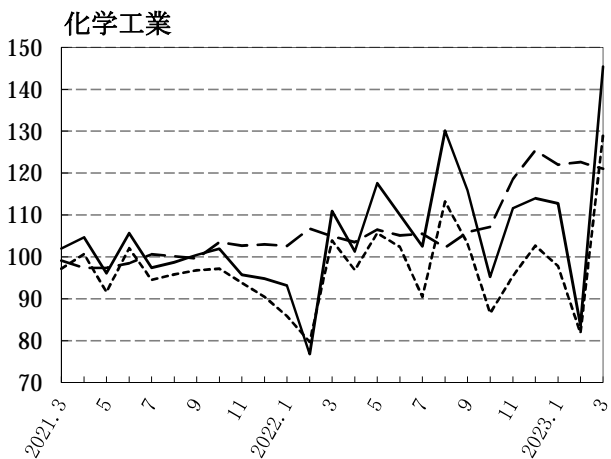
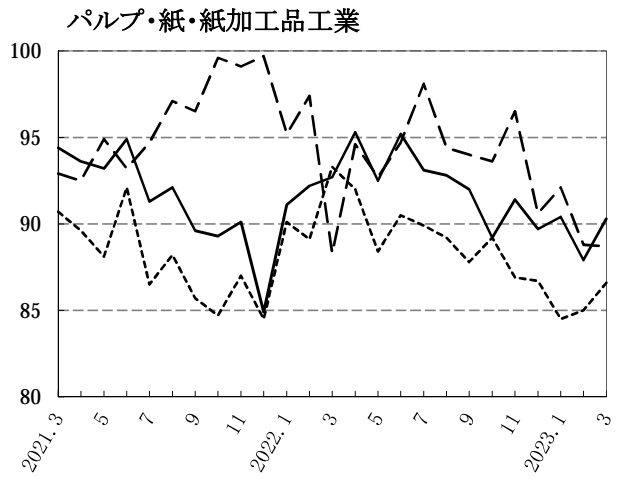
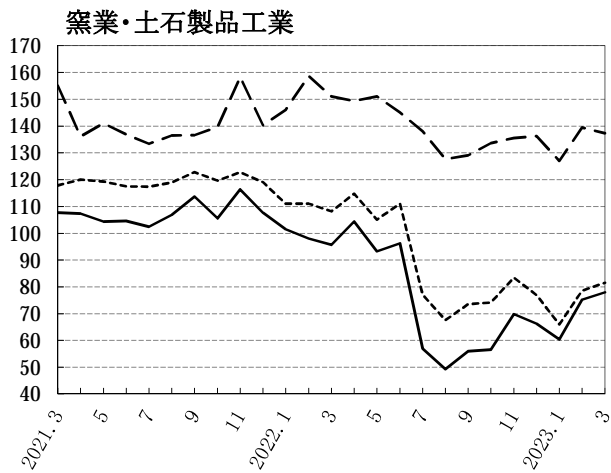


生産用機械工業



輸送機械工業





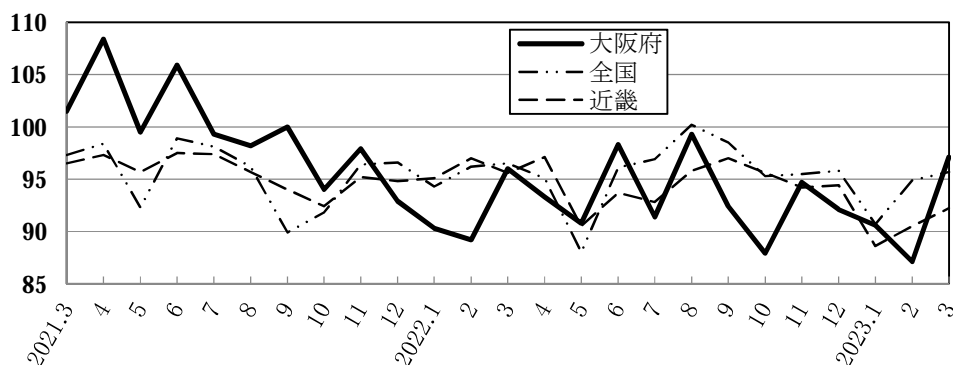
4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	97.1	11.5	95.7	0.8	92.2	1.9
出荷	91.1	6.2	93.1	0.4	92.9	2.1
在庫	106.2	▲ 0.4	104.1	0.6	103.7	0.6

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、**2015年(平成27年)**です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成**31年1月速報(2019年3月29日公表)**から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2021年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2022年7月速報(2022年9月30日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、**2022年1月**以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)